

都市再生整備計画 事後評価シート
草薙駅周辺地区

平成24年3月

静岡県静岡市

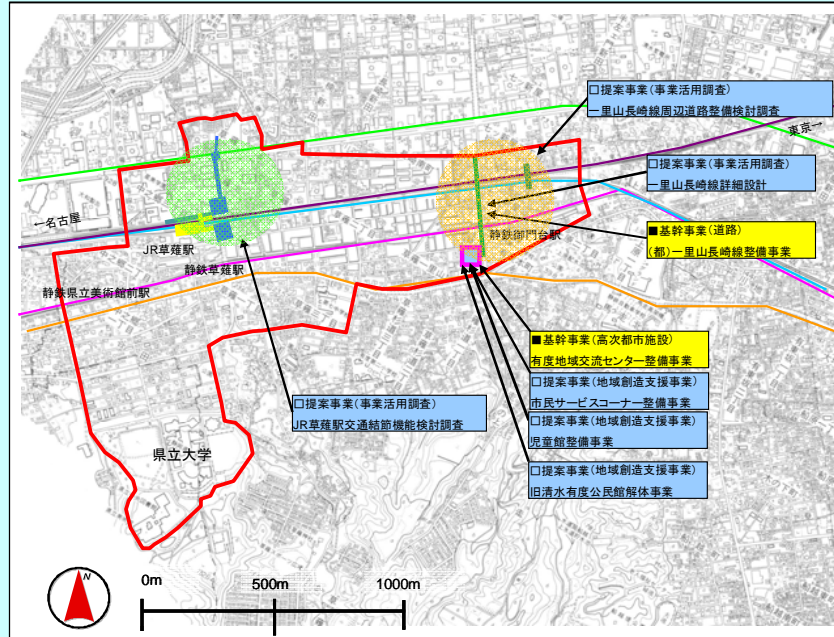
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県	市町村名	静岡市	地区名	草薙駅周辺地区			面積	168ha					
交付期間	平成19～23年度	事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	1921.0百万円	国費率	0.408							
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
	基幹事業		【道路】(都)一里山長崎線											
	提案事業		【地域創造支援事業】市民サービスコーナー整備事業、旧清水有度公民館解体事業 【事業活用調査】一里山長崎線詳細設計 【まちづくり活動推進事業】住民交流のまちづくり活動支援事業											
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
	新たに追加した事業		基幹事業		高次都市施設(JR草薙駅南北自由通路他)		関係者との協議調整等に時間を要したため、交付期間内の実施を中止		・指標「南北地区間の歩行者往来度」を削除 ・指標1「駅周辺のまちの魅力度」の補足指標として「御門台駅周辺のまちの魅力度」を追加					
		提案事業		【地域創造支援事業】JR草薙駅北側歩道整備事業、第二セツ新屋踏切撤去事業		関係者との協議調整に時間を要したため、交付期間内の実施を中止		・指標「南北地区間の歩行者往来度」を削除 ・指標1「駅周辺のまちの魅力度」の補足指標として「御門台駅周辺のまちの魅力度」を追加						
		基幹事業		【高次都市施設】有度地域交流センター		高次都市施設(JR草薙駅南北自由通路他)から移行		影響なし						
		提案事業		【地域創造支援事業】児童館整備事業 【事業活用調査】一里山長崎線周辺道路整備検討調査、JR草薙駅周辺交通結節機能検討調査		児童館整備事業:有度地域交流センターへの合築による追加 一里山長崎線周辺道路整備検討調査:円滑な地区内道路網の整備を推進するため追加 JR草薙駅周辺交通結節機能検討調査:交通結節機能の強化と魅力づくりを推進するため追加		・指標1「駅周辺のまちの魅力度」に寄与するが、目標値については据え置く。また補足指標として「御門台駅周辺のまちの魅力度」を追加 ・指標2「地域交流センターの利用者数」に寄与するが、目標値については据え置く						
交付期間の変更		当初	平成19～23年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—								
		変更	—											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	指標1		駅周辺のまちの魅力度 ①草薙駅周辺 ②御門台駅周辺	%	①16.2 ②7.1	①H18 ②H21	①28.3 ②14.3	H23	①31.0 ②—	①42.8 ②49.4	○	あり なし	一里山長崎線の歩道の整備による安全性の向上や老朽化していた生涯学習交流館の建替えにより、駅周辺のまちの魅力度が向上し、南北地区間の安全な往來の実現および魅力ある駅周辺の整備に寄与した。	平成26年度
	指標2		地域交流センターの利用者数	人/年	43,031	H17	45,079	H23	42,972	77,000	○	あり なし	既存交流施設の建替えに伴う部屋構成の改善、バリアフリー化のほか、児童館の併設や住民ワークショップ等で得られた意見による部屋の配置計画等を行い、多様な利用ニーズへの対応をしたことにより、施設の利用者数が増加し、地域交流のまちづくりに寄与した。	平成25年7月
	指標3		ワークショップ等への住民参加人数	人	5カ年 推定累計 265	H21	5カ年累計 600	H23	—	782	○	あり なし	事業に係る説明会やワークショップ・意見交換会を積極的に実施した結果、ワークショップ等への住民参加人数が増加し、魅力ある交流やイベント等の活性化に寄与した。	平成24年4月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	その他の数値指標1													
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 各事業の説明会や市政ふれあい講座を積極的に行うことにより、事業への理解と地域の将来像への関心が高まってきている。 これまでは、地元自治会や各種団体・大学等の個々の活動による交流はあったが、ワークショップ等の実施により、まちづくりを目標とした各団体間の交流が図れた。 市役所内における横断的な事業検討体制により、活発な議論が展開された。 													
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング		平成21年度 指標の達成状況の計測と庁内組織による検討				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●	他地区の計画や今後策定される計画においても、適宜モニタリングを実施していく。		
	住民参加プロセス		①平成19～23年度 市政ふれあい講座や各事業説明会による住民への情報提供の実施 ②平成21～22年度 地域交流センター(有度生涯学習交流館)整備にあたり、ワークショップ等による基本計画策定への住民参加の実施 ③平成21年度 中間評価にあたり地元住民へアンケート調査を実施 ④平成23年度 まちづくり活動支援事業の実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●※④ ●※③ ●※②③	・事業に対する住民の参加意識の向上や魅力あるまちづくりに向けた住民との協力体制の構築を目指し、ワークショップ・地元説明会・市政ふれあい講座等を今後も引き続き実施する。 ・地域の様々な団体・組織間の連携の強化と大学生の若い力を活かした交流やイベント等の活性化に向けて、ワークショップなどによる地域交流の推進を目指す。		
	持続的なまちづくり体制の構築		住民、地域の団体、大学生等の参加によるまちづくり部会の創設検討				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ●	地元自治連合会等と連携を図りながら、地域のまちづくり体制を検討していく。		

様式2-2 地区の概要

草薙駅周辺地区(静岡県静岡市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 地域と大学等との連携やJR草薙駅と幹線道路による南北連絡強化と駅前の顔づくりによる、質の高い文教環境を活かした地域交流のまちづくり 目標1: 鉄道による市街地の分断を解消・緩和し、南北地区間の自由で安全な往來の実現の推進 目標2: 大学、芸術、自然環境、住環境等の優れた地域資源を活かした魅力ある駅周辺整備の推進 目標3: 地域の様々な市民団体・組織間の連携の強化と大学生の若い力を活かした交流やイベント等の活性化	駅周辺のまちの魅力度 ①草薙駅周辺 ②御門台駅周辺	①16.2 ②7.1	①H18 ②H21	①28.3 ②14.3 H23 ①42.8 ②49.4 H23
	地域交流センターの利用者数	43,031	H17	45,079 H23 77,000 H23
	ワークショップ等への住民参加人数	5カ年推定累計 265	H21	5カ年累計 600



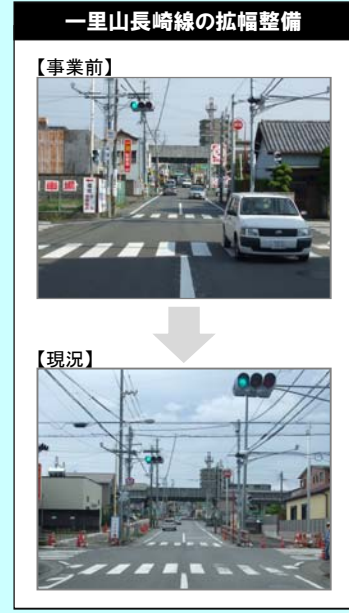
草薙駅周辺地区
168 ha

- 提案事業(事業活用調査)
一里山長崎線周辺道路整備検討調査
- 提案事業(まちづくり活動推進事業)
まちづくり活動支援事業
- 提案事業(事業活用調査)
一里山長崎線詳細設計
- 基幹事業(道路)
(都)一里山長崎線整備事業
- 基幹事業(高次都市施設)
有度地域交流センター整備事業
- 提案事業(地域創造支援事業)
市民サービスコーナー整備事業
- 提案事業(事業活用調査)
JR草薙駅交通結節機能検討調査
- 提案事業(事業活用調査)
児童館整備事業
- 提案事業(地域創造支援事業)
旧清水有度公民館解体事業

凡例

■	基幹事業
□	提案事業
---	関連事業

国道1号線	—
南幹線	—
JR東海道新幹線	—
JR東海道本線	—
静岡鉄道	—



まちの課題の変化	<p>(達成されたこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一里山長崎線の歩道の一部が整備され、安全性の改善に寄与した。 一里山長崎線の一部歩道整備、生涯学習交流館の建替えが御門台駅周辺のまちの魅力向上に寄与した。 住民交流を促進する施設として、老朽化していた生涯学習交流館が建替えられた。 ワークショップ等の実施により、南北地区間の住民交流が図れた。 「草薙」が地域ブランドとなるような地区づくりを進めることを目的に、「草薙」のイメージをより良くしていくための活動や取り組みの検討を行った。 ワークショップ等の実施により、地元自治会や各種団体・大学等の交流が図れた。 <p>(未解決の課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一里山長崎線では歩道未整備部分が残っており、また、JR草薙駅に係る整備も実現していないことから、鉄道による南北分断、生活利便性の南北格差の解消には至っていない。 一里山長崎線全区間の歩道整備や交流施設の有効活用等により、御門台駅周辺の魅力をさらに向上させる必要がある。 JR草薙駅駅前広場整備等の事業化を進め、南北地区それぞれにふさわしい駅前の顔づくりを実現する必要がある。 地域資源を活用したまちづくりの実現に向けた取り組みの実施や施策の検討が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> JR草薙駅南北自由通路、北口開設の具体化に係る検討や、関係機関との調整を進めた。 JR草薙駅駅前広場整備等の事業化に向けた具体的検討や、関係機関との調整を進めた。 生涯学習交流館の建替えに合わせ、児童館が新設され、交流施設としての機能が強化された。 各事業の説明会や市政ふれあい講座の実施により、地域住民の事業への理解と地域への将来像への関心が高まってきている。 地元の企業等の、まちづくりへの参画を推進していくことが課題として残されている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>(新たな課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習交流館の運営に指定管理者制度を導入することから、指定管理者、行政、住民による新たな運営体制の構築が必要になる。 生涯学習交流館・児童館の施設運営に住民の意見を活かし、主催事業やイベント開催、PR等の充実に努める。 一体的なまちづくりに向けての協力体制構築のため、ワークショップの継続的な開催等により、地元自治会や各種団体・大学等のさらなる交流を図る。 各事業の説明会や市政ふれあい講座等を引き続き実施し、地域住民のまちづくりへの関心や参加意欲を高めていく。 一里山長崎線の全区間の歩道整備等により、南北方向の歩行者連絡性の改善を進める。 南北地区住民の、自由でバリアフリーな往來を実現する。 交流施設の有効活用等により、にぎわいのある駅前の顔づくりを推進する。 文教地区の駅前としての魅力向上を推進する。 文教施設～住宅地～駅前にかけて、歩く人々のためのまちづくりを進める。 地元自治会や各種団体・大学のまちづくり活動へ、企業等の参画を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> JR草薙駅における南北自由通路、北口整備により、交通結節機能を拡充する。 一里山長崎線の全区間の歩道整備により、安全で快適な御門台駅周辺の整備を進める。 JR草薙駅駅前広場整備等の事業化により、文教地区・優良住宅地、産業ゾーンにふさわしい品格とにぎわいのある駅前の顔づくりを実現する。 静岡市景観形成ガイドプランに基づき、文教地区にふさわしい景観形成を推進する。 JR草薙駅及び静鉄御門台駅周辺において、地域資源を活用した駅前の顔づくりを推進する。 生涯学習交流館の指定管理者制度を活用した運営体制の構築を進める。